

『蓮くんはヨリを戻したい〜ヤンデレ元カレの復縁要求レイプ〜』

音声特典 『やだやだ、絶対別れてない!』

▼収録区切り①

○場所:蓮の家

平日の夜、大学終わり

蓮、ヒロインに別れを告げられて無になった状態で家に到着する。

扉の開閉音、蓮の足音。

ベッドに座る蓮、ベッドの軋み音。

DHM:①

蓮 (ため息、現実を受け入れられていないようにぼんやりと)

蓮 「……ってか、さっきあいつから別れようって言われた?」

蓮 「もしかして、俺振られたってこと? は? いやいや、待って待って。

なんで別れることになってんの。……え、俺、あいつと別れちゃった感じ……?」

蓮 「……意味、わかんないし……。」

別れたいって言われたけど、俺は別れようなんて一度も言っていないよな?  
別れてもいいよ、なんて言っていないよな?」

蓮 「はは、そっか。あいつの勘違いってことだね……?」

ああ、そっだ。連絡入れておかないと……明日も、一緒にお昼食べるだろうから……。  
そう、そっだよな……? 別れてないもんな? 冗談なはず……」

蓮、自分の端末でヒロインに連絡をする。スマホタップ音

蓮 「無理無理無理。別れてない、絶対に別れてない。

だって、あいつ笑ってたじゃん。俺のこと好きって、大好きって言ってたじゃん。  
この前まで一緒にエッチ、したじゃん……」

蓮 「あゝ、なんて言ってたっけ……俺が、知らないひととキスしてたとかなんか……?」

そんなのありえないよ。そんなことするわけない。

やっとなあいつと付き合えたのに、そんなバカな真似するわけないじゃん……」

39  
40 蓮「なんで俺のこと信じてくれないの……。」  
41  
42 あー、そっか。俺の気を引かせたくて、あんなこと言ったんだよね。そうだ、きつとそう。

43 42 そうだよ。だって、あいつは俺のこと好きだし、俺もあいつのこと好きだし。  
44 今回の悪い冗談ってことだよ、あはは、そうだよ、そう……」

45 蓮「……はは。どこかで間違えた？ なにがダメだった？ 俺がいけなかったの？  
46 ……そんなことない。きつと誰かにそそのかされちゃったんだ……」

47  
48 蓮「だって、俺、あんなに愛してるって言うてたよ。伝わらなかったってこと？  
49 俺がその知らないひととキスしてたっていつのも、  
50 ろくでもないヤツから吹き込まれただけに決まってる。  
51 次はそうならないよう、俺だけを見れるようにしないと……ははっ」

52  
53 蓮、再び自分の端末を確認してメッセージを送る。スマホタップ音

54  
55 蓮「……あー。なんでまだ連絡来ないんだよお……。既読もつかない……。」

56 誰かというの？ 俺の知らないやつ？ まさか、男？

57 ああ……うう……もう、やだ。俺のこと捨てないでよお……やだやだやだ。  
58 大好きなのに……あいつのこと、こんなに愛してるのに……なんでだよ」

59  
60 蓮「……俺のこと、大好きって言うたくせにっ。好きって、愛してるって言うたくせにっ。  
61 なんでだよ……急に別れるなんて、酷いこと言うなよお……。  
62 俺はこんなにも愛してるのに……酷い。酷い。酷い」

63  
64 蓮、スマホをベッドの上に放り投げる。ベッドにスマホが沈む音

65  
66 蓮「……ははっ、あいつのこと考えてたら、勃起してきちゃったよ。

67 これ、どうするの？ 俺が処理するの？ あいつが処理してくれないと、寂しいよ……。  
68 あいつがいないなら、自分でするよ……すればいいんだろ……。  
69 一人でオナニーしてやるから……あいつのこと思いながらオナニーしてやるっ……」

70  
71 蓮、ヒロインのことを思いながらオナニーをする。射精するまで喘ぎながらセリフ  
72 スポンを脱ぐ音、衣擦れ音、以降水音適宜

73  
74 蓮「はあ……くっ。別れてない、別れてるわけないっ……俺、別れたくないんだよっ……。  
75 ああっ、もうやだあ……なんで、俺一人でオナニーしてるのっ？  
76 あいつとエッチしたいよお……」

77  
78 蓮「はあ、はあっ……俺、別れたいなんて一回も言っていないじゃんかつ。  
79 もう、あいつにしか勃たないのにつ、どうしてくれるんだよっ……。  
80 いっぱいデートしたじゃんつ、俺がつ、抱きしめたら顔赤くしたくせにつ……！」  
81

82 蓮「……なんでっ、なんでっ、今までの思い出を忘れるってことっ……？  
83 はあっ、くっ……絶対に別れないっ、ずっと俺の彼女だもんっ……。  
84 あいつが別れたがつてもっ、離さないっ。はあっ、んっ……」  
85

86 蓮「……ああっ、あいつのナカに俺のちんぽ挿れてっ、喘がせてやりたいっ……。  
87 たくさん突いてやって、あいつの好きな奥にねじ込んでっ……  
88 いっぱい、いっぱいイかせてあげたいんだよっ」  
89

90 蓮「俺のっ、ちんぽ、あいつ大好きだもんなっ……いっぱいセックスしてあげるからっ。  
91 お願いだからっ、ずっと傍にいてよっ……はあ、はあ……んっ……」  
92

93 蓮「あいつはまだ、俺がどれだけ好きか知らないんだ。  
94 本当は、何度も何度も、気絶するくらいに抱きたいのにつ。  
95 誤解を解いて、俺の愛情をはやく伝えてあげないと……。  
96 絶対、絶対逃がさない、離してあげない」  
97

98 蓮「くっ……はあ……あいつのことっ、考えながらっ、イってやるからっ……。  
99 なあっ、お前のこと、考えながらイく俺のこと好きだよねっ……」  
100

101 蓮「はあっ……お前のこと、大好きすぎて、こんなになっちゃったんだからっ……！  
102 お前でしかイけない身体にされてんだからっ……。  
103 責任取ってよっ……俺のこと、ずっと、一生愛すって誓わせるからっ……！  
104 はあっ……んっ、くっ……はあっ……イ、くっ……！」  
105

106 蓮、射精する。射精音、水音止め  
107 射精してしばらく呆ける蓮。  
108

109 蓮「はあ、はあ……」  
110

111 蓮「そうだよ、あいつ以外に興奮しない体にさせられたんだ。責任取ってもらわないと。  
112 あいつのこと考えながらならイけるけど……やっぱり本物じゃないと、  
113 あいつに触れてないと、気持ち収まらない……。あゝ！  
114 やだやだほんとに無理なんだけど！絶対に別れてない……！やだやだ……！」

115  
116 蓮「ううー！ー！ もうっ、無理っ！ あいつが傍にいないと頭おかしくなりそうっ！  
117 あー！ どうしよっっ、どうすればいいっ。俺は、どうすればいいんだよお……」  
118

119 蓮がじたばたと暴れた拍子に、棚からピアスが落ちる。  
120 ベッドの上で暴れる音、床に何か軽いものが落ちる音  
121

122 蓮「なんか落ちた……？ あっ……これ……  
123 この間、あいつに似合うと思って買ってたやつ……」  
124

125 蓮、自分の耳に触れる。肌擦れ音  
126

127 蓮「……3つセット、か。俺がつけるには、穴が1個足りないな。  
128 ……あとで、増やしておけばいいか……  
129 あいつとの思い出をずっと忘れないために……」  
130  
131

END